

秘伝の先天呪符の応用

梁 蔭全 著

呪符、あるいは霊符とは古代社会において人々が神の力をうけるための道具として流布したものです。その精神性が道教や仏教とミックスされ、各種の呪法や占い、または悟りの方法などに進化していきました。日本には昔、陰陽師で知られる陰陽道も中国の道教を輸入し、国家のための呪術師として呪術専門に働いた人たちです。日本に渡り密教（真言宗高野山）や道教、陰陽道の影響で護符・秘符・霊符の除災招福の呪符文化がだんだんに日本にも深く浸透されてきました。一種の国民文化になりました。人はお願いことがある時、自分自身が精進し努力することに加えて、目に見えない力の助けを求めることを望みます。一般的には、その助けを求める相手が霊的な力の持ち主によって神仏の力を符の中に移し込めたものが呪符です。しかし、梁蔭全先生の秘伝黄庭先天呪符は、今までの護符・秘符・霊符とは多少違います。秘伝黄庭先天呪符とは、自分自身の形と精神の修練をすることによって、お願い事、除災招福、健康長寿などの願望を達成することができる呪符です。

何より今は世の中にコロナウィルスが大流行している時ですから、先天呪符の力で命を助けられるかもしれないと思います。何故先天呪符の力は強いのですか？それは古禅医道の核心＝養神と関係があります。養神とは自分の心あるいは魂を養うことです。即ち、これによって、いつも良いエネルギーを吸収することができて、自分自身で大切な心・魂を守ることができます。

もう一つは、先天呪符はただの呪符ではなく、ヨガみたいな姿勢を取ることによって、自分の心・魂を守る力をアップすることができます。ですから、私はここで皆さんと一つ契約を結びたいのです。これは六十年後にここで皆さんと会う約束です。時間は2080年12月28日です。皆さんは北から来ても、南から来ても、また他の国から来ても、あなたが何歳であっても、どんなに有名で裕福であっても、また普通な人であっても、皆さんと口頭でこの契約を結びたいのです。契約の内容についてお話しします。

今年は庚子年です。60年に一度のサイクルなので、次の庚子年まで自分自身のために一所懸命働いて、次の庚子年のときに、いまここに口頭で契約を交わした方に何人再会できるかを知りたいのです。60年後の2080年12月28日に、あなたの人生に変化があるかどうか、今の場所はどのようになっているのか、皆さんに来ていただいて一緒にパーティーをしましょう！これが私たちの契約内容です。契約を結んだ後は、人生の修練をすることが始まります。修練するかどうかで、あなたの人生の美しさ、面白さが違ってきます。修練しない人生は有限な平面図か、直線な人生でしょう。逆に修練する人生は無限に、立体的で面白い人生になるでしょう。先天呪符は人生の修練をすることに良い方法です。以下、先天呪符について説明します。

1. 先天呪符のお守りの応用

先天呪符のお守りの応用は、三つに分けられます。

(1) 内神

内神とは、生まれつきの元の気、すなわち内なる生来の活力。この生来の活力は私たちの心・脳に住んでいて、とても大切なエネルギーです。内神がわかれば、先天呪符の本質もわかると思います。

(2) 形

私たちの身体そのものです。自分自身の体の構造を理解することが必要です。現代医学や解剖学から理解するだけではなく、内神と形（身体）との内在関係もわからなければなりません。

(3) 外の世界

私たちの内神と形（身体）において、外の世界は二つがあります。一つは物質的な外の世界です。これは誰でも知っています。もう一つは、エネルギーな状態の外の世界です。この外の世界は、目に見えないものですが実感できると人の運氣に影響を及ぼすものです。その物質的な外の世界とエネルギーな状態の外の世界は常に変化し続けています。

つまり、先天呪符の応用とは、私たちの内神と形（身体）が物質とエネルギーの世界を通じて、修練することによって、私たちが透明で絶妙で染みのない、自由自在な人間になることを可能とするものです。

2. 先天呪符は心に導きをもたらす。

まず、椅子に座って、道教の「崑陽手印」をします。冬至の節気時、一つの陽が生まれている時ですが陰の気がまたとても強いので、生まれただけの一つの陽の気を大切にしましょう。「崑陽手印」は陽の気を守る良い修練法の一つです。やり方はとても簡単です。

親指を薬指の付け根において拳を握るだけです。この方法は四十歳を超えた男女にはとても良い「薬」です。やり方は簡単・便利で、座っても歩いても、電車・バスに乗っていても、・・・どこでもできます。この陽の気を守る道教の手印は一歳前の赤ちゃんがよく自然にやります。特に赤ちゃんは緊張している時や怖い時によく「崑陽手印」をします。次は、立った状態での修練方法です。

もっとも簡単な二つの方法です。

①全身の骨や関節が水と同じくらい柔らかくなる方法。この方法ができれば、どんなに長く立っていても疲れません。

②つま先から足首まで「虚」と「空」の状態になることです。

つまり、十本の足指を地面につけないで、足底（そくてい）だけ感じることで。

形や姿勢は難しくありませんが、内神（心）の修練をすることはそんなに簡単ではありません。ここで、内神（心）の導きについてよく説明しましょう。まず、自分が五千億の太陽の上に立っていると想像します。太陽系に太陽が一つしかありませんが、銀河系には20兆の惑星があり、その中の四分の一は太陽のような惑星です。それが五千億の太陽です。それから五千億の太陽の赤い光はボトムアップしながら、反時計回り、スパイラルして、私たちの十本の足のつま先、十本の手の指先と尾骨から、私たちの体の骨と骨髄に入り込んでいきます。赤い光は私たちの頭の頭蓋骨を超えてはなりません。そして、私たちの骨格全体は赤い風船のようなものになるとイメージします。さらに、全身の骨・骨髄の世界に赤い光の海のように赤く輝き、さらに赤い太平洋、赤い宇宙になるとイメージします。私たちの内神（心）はこの赤い光宇宙の中にいます。そして、一緒に赤い宇宙の中心に層ごとに入り込みましょう、光の中に光があり、光のボールの中に、また光の中心にボールがあり、光の中心の中にまた光の中心が現われこの赤い光宇宙の中心に自分にそっくりの一歳くらい赤ちゃんが座っています。ここに私たちの内神（心・魂）の家を建てましょう。この瞬間に感じるのは、全ての外の世界とあなたの過去・現在・未来のすべての物。これらを感じる過程で取得した不純物を取り除き、中のもっとも本質的な美しいエネルギーと光を吸収して自分の内神（心・魂）に取り込むようにします。内神（心・魂）の場所は、骨髄と腎臓に近いところです。東洋医学では中焦、密宗では海底輪、道教では丹田と呼びます。

この場所は、先天の元気の居場所ですから、とにかく、もっとも貪欲な方法を使用して、世界で最高の物質を自分の内神（心・魂）に集めましょう。私たちの内神（あるいは心・魂・先天の元気）とは、内なる世界、内なる宇宙です。内在する宇宙には中核があり、中核の中心にはさらに中核があり、中核の中には宇宙があり、宇宙の中には中核があって・・・上から下へと尽きることはありません。内神の中については、陰神と陽神を分けることができます。陰神は、全てプラスな陰のエネルギーを持っています。陽神は、全てプラスな陽のエネルギーを持っています。陰神・陽神と一体な内神が私たちの形体と関連する時には、また、胎光・幽精・爽霊と言う三つの魂に分かれます。

胎光と言うのは、先天の生命力です。例えば、重病患者で精神が全くない時、その人の胎光が非常に弱いからです、助かる希望が薄いのです。逆にいくらかの精神を持っている場合にはその人の胎光は多少強いかもしれないので、助かる見込みがあります。例えば、いま流行している放射線や免疫療法は、患者の胎光を少しずつ消し、彼の活力を少しずつ破壊しています。ですから、私たちは自分の胎光に対して、消耗しないようにするだけでなく、最愛の愛する子供を守る親のように保護することが大切です。胎光を守るとは、生来の先天の活力を守ることです。

三つの魂の二番目は幽精です。幽精と言うのは、後天に獲得した活力です。この内神から分けられた魂は、人の体を守るものです。もし、疲れを感じたり、病気がちになったり、見た目から体調がよくなさそうに見えたら、幽精の修練から始めなければなりません。皆さんは、胎光を強くしたい、幽精も修練したいと思うとき、どんな方法を行いますか。現在、社会で普及している様々な健康維持の方法には、良い方法もあれば、愚かな方法もあります。代々伝わっている方法、欠陥のある方法、いろいろなやり方を寄せ集めた方法など・・・さまざまあります。どの方法がいいのでしょうか？それを証明と制御できるのは、三つの魂の三つめの爽霊です。

爽靈は、胎光や幽精と違い、伝説的な直感とインスピレーションのようなものです。爽靈の感覚はインスピレーション第六感と呼ばれています。全ての偉大な政治家・軍事戦略家・有名な商人・名人・芸術家・・・彼らの爽靈の力は一般人よりはるかに高いものがあります。あなたは素晴らしい人になれるでしょうか。それはあなたの三つの魂にある爽靈の強さで決まります。

道教の文化で、爽靈の修練を完成させた人たちはしばしば歴史を変えてきました。例えば、張良、諸葛孔明、劉伯温などは優れた代表です。しかし、爽靈修練が優秀な者が長生きできるという意味ではありません。秦～前漢時代の張良は76才、三国時代の諸葛孔明は53才、明代の劉伯温は64才で亡くなりました。従って、長寿を望むなら胎光から修練しなければなりません。

先天呪符は、エネルギーの一種です。お守りの模様と一個の古代文字が拡張されてできました。この拡張された模様と古代文字は内神の周辺の光から結び始めます。例えば、五千億の太陽のエネルギーが自分の骨・骨髄に流れ込んで、中核の中の一点が赤い光の海、赤い太平洋、赤い宇宙になります。そして、中核の中心に自分と全く同じ一歳くらい赤ちゃんがしゃがんで修練しています。これが内神（心・魂）です。そして、内神を取り巻く光がお守り模様と古代文字を結びつけます。先天呪符は多くはありません。私は九つのシンボルを選択します。特に頻繁に使用されるのは二つだけです。三十九年間にみなさんのために書いたお守り呪符の枚数は数十万枚を超えました。

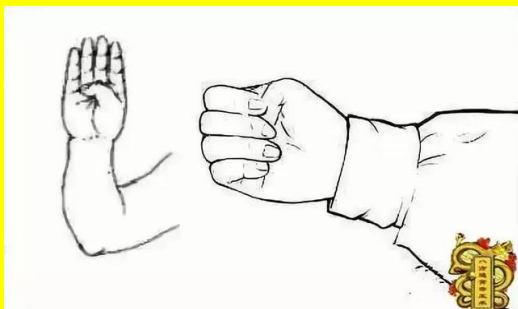
私たちが立ち姿勢の練習するとき、内神はどんな状態になるのでしょうか？このときの内神には内なる世界を曖昧にすることはできません。まず、はっきりと感じてください。想像力でも視覚化でもありません。視覚化が役立つ場合もあれば、役に立たない場合もあります。最初、感じるのが大事です。ただ快適に感じます。立っているとき、血液循環は3倍になります。この立ち姿勢は「一字陰陽椿」と言います、8000年前の古代インドの「直立経」に由来し、最高のヨガの姿勢と見なすことができます、血液循環は5倍にスピードアップします。じっと立っていることが我慢できない場合には、また座ることができます。この立ち姿勢には次のような利点があります。気は陰気と陽気を分けます、左手が陽気、右手が陰気であることを意味します。左手が下、右手が上です。約3分で誰もが右手は寒くなり、左手は熱くなることを感じます。10分後にそれを感じる人もいます。感じるときには、右手の色が白くなった、左手の色が真っ赤になったことも見えるでしょう。30分立っていられたら、それはとても強力で、信じられないほどの効果が出ます。私たちはもし毎日にこの姿勢で5時間の専門的なトレーニングをした場合、120歳までは間違いなく生きることができるよう！だから、この立ち姿勢について、みなさんに少し強要させてもらいます。できるだけリラックスして下さい。そうしないと、このバランスを維持することが難しくなり、立つことができなくなります。ですから、5時間立つことができれば、全身の関節、血管、神経、毛細血管、末梢神経、腱は非常に柔らかく、弾力性と酸素含有量に満ちています。内神のことを知った後、私たちの体、肌、筋肉、血管、神経、私たちの内臓、骨、骨髄、細胞核、DNA、遺伝子センター、遺伝子の世界まで、どのように見えていますか。仏教では私たちの体が私たちの心を禁錮していると言いますが、私たちは生と死のためにそれと戦わなければなりません。道教の先知＝老子は言いました。私は生まれてから、私たち自身が大きな災害に見舞われたことを知っていました。私達はこの体を持っているからです。つまり、私たちの身体は家に相当します。この家の本当のマスターは私たちの内なる神です。私たちはただこの家に住んでいます。だから仏教には六道輪廻があり、チベットには班禪大師が仏様の生まれ変わりでもありました、道教には修練して仙人になるものもあります。道教には修練することによって、自分の魂をよく育てていき、もっと強くなり、一般人を超えて仙人の境地に入ります。こうなると楽しいです。ですから、私たちの体を家と考えてください。この家は掃除する必要がある、それを維持することも必要です。この家をゴミだらけにすることはできません、家の掃除とドレスアップする必要があります。現代社会には良い化粧品が沢山あり、種類も豊富で、女性ならメイクやヘアスタイルを通して、大体は美しい女性になれるでしょう。ただし、化粧で外観の容姿のみを美しくしたとしても、人の内面まで美しくなるとは限りません。家も同様で、外観は美しくても、家の中がゴミだらけでは、住んでいる人は居心地が悪いです。同じく、私たちの内なる神を修練するときには、システムが乱れてしまうなら、良い体を維持することができません。だから、黄庭古禅医道の修練することは、内神、内なる世界から始めます。即ち内側から外側です。修練の方法は、古禅拳法、黄庭椿と5つ毒素を排除システムがあります。それ以外にも、数十種類の実用的な方法もあります。さまざまな方法はすべて2つの側面を中心に展開します。

一つは、内なる神をどんどん強くしていく方法です。即ち生来の活力をどんどん強くすることです。もう一つは、私たちの体を維持する方法です。このメンテナンスは主に裏返し、内側から外側の維持す

る方法です。そして、この二つを中心に展開する場合、どのように先天呪符を使うかという内臓が良くない場合は、先天呪符のエネルギーをそこに入れてください。どうやってやるのかというとき、使うときに先天呪符を持って、先天呪符を金色の光に変えて、そのエネルギーをよくない内臓に入れてください。腎臓が良くない場合には腎臓に、肝臓が良くない場合には肝臓に、疲れている場合には骨髄に入れて下さい。この先天呪符はアプリケーションと実用性が抜群です。私がこの先天呪符を書くとき、一筆で書き上げます。そして、書き始めたときに内なる神々を先天呪符に入れられなければなりません。私たちの体の形と内なる神を説明した後で、外部からの影響について話します。体の形体、姿勢や肉体もわかりやすいです。私たちの体は病気などがあった場合、原因は何でしょうか。

一つは内側から来た原因です。あるいは三つの魂に問題があります。例えば、三つの魂では、もし胎光が不足している場合には寿命は短くなります。幽精が不足している場合は一日中元気がなくなり、ますます病気になるでしょう。これも寿命（胎光）に影響を与えます。元気がないと、インスピレーションは言うまでもなく、通常の考える能力も落ちるでしょう。この場合は爽霊は閉鎖されてしまいます。だから、内なる神の健康、形状に大きな影響を与えます。だから、先天呪符は内なる神に最もよく使われます。内なる神、内なる世界、そして外なる世界において、家みたいな壁で区切られ、この家はあなた自身の体です。身体の内部からの原因が解決された後、最も影響を受けるのは外部からのダメージです。外部からのダメージは何でしょうか。私たちが毎日、食べる物、飲むもの、吸う空気、また外からの騒音もあります。誰かを叱ったり、外で悪い知らせを聞いたり、または生活環境が良くないなど、それらが外部からのダメージの原因です。したがって、先天呪符は、外部のダメージから私たちの身体を守ることができます。その場合に、先天呪符を使うには、まず、外部環境を知る必要があります。それは2つの側面に分けられます。

一つは、目の前に見た物、例えば会議室の椅子、カーペット、さまざまな電灯、そして周りの他の人々など、これが物理的な現在の環境です。これは一つの側面です。外部環境には二つ目の側面もあります。それは目に見えない空気、触れることのできない電流、ライトのオンとオフを切り替えることなど、これらは人に知られています。この宇宙、この空間の中で、既知で、具体的で、目に見えるものはわずか4～5%に過ぎません。95%は暗黒物質です。人間が知覚できない問題、しかし現実に存在する問題＝暗い問題。こうした中で宇宙のバランスをとる方法、これを使用する方法やその空間などを外部のエネルギーと呼びます。外部領域のこれらの二つの側面は、瞬間と一時、現在、立体的、三次元に分けられます。無限の過去、無限の未来。これが外部環境です。私たちの先天呪符は、内なる神、中間の形（身体）、そして外の世界を完全に理解しなければなりません。つまり、先天呪符の役割の核心は内なる神の胎光、幽精、爽霊（三魂）を強くすることによって、私たちの肉体を健康にすることができます。先天呪符は、あなたと一緒にいることを願っています、来年はすべての悪いことを打ち破り、そして、良い運気が2倍、10倍、100倍に上昇しますように！



〒164-0012 東京都中野区本町 6-16-11 ASビル新中野6F 梁蔭全気功事務所

TEL: 03-3229-3136

FAX: 03-6382-7778

メール: ryankikouj@gmail.com

HP: <http://www.ryankikou.com>